

# 平成24年度「まち“夢”工事部門」第2次選考会の様子



■日時 平成25年2月10日(日)13時～16時30分  
■会場 名古屋都市センター・ホール(金山南ビル11階)

第1次選考会(7月11日開催)を通過した4団体の第2次選考会を開催しました。

## 12:30 受付開始

応募団体の皆さんには12時40分に集合していただきました。事務局からプレゼンテーションの進め方と機器操作の説明を受けた後、開始までスタンバイです。

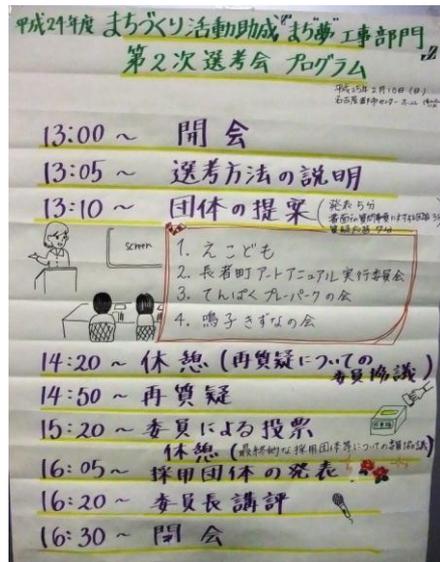


会場には発表団体関係者9名、一般11名の参加がありました。

来場者にも提案内容をできるかぎり公表し、会場で資料を配布しました。

### 【会場で配布した資料】

- 当日のプログラム、選考方法説明資料、各団体からの提案内容



## 13:00 開会

名古屋都市センター主幹の司会で、選考会が開会しました。始めに、名古屋都市センター事業部長からあいさつがありました。



あいさつする青木事業部長

団体の皆様におかれましては、1次選考会通過後、調整等色々大変であったと思いますが、それまでの過程もまちづくり活動であります。本日の選考を通過していただき、工事を進めていただけることを期待します。



司会の柴田主幹



### まちづくり基金運用委員会の委員(6名)を紹介

選考会に当たっては、事前に申請書を熟読し、  
現地視察を行い臨みました。

### 13:05 選考方法の説明

選考の進め方について事務局より説明がありました。



選考方法を説明する  
事務局

### 13:10 応募団体による発表・質疑応答

各団体発表5分、事前に送付した書面での質問事項に対する回答3分の持ち時間で、申請書の提案内容について発表・回答していただいた後、まちづくり基金運用委員との質疑応答を行いました。タイムキーパーは、発表に際しては時間表示をして、公平な発表を心がけました。



プレゼンテーションの様子



質疑する基金運用委員と  
回答する団体の皆さん

委員長より、予算の制限があるため、減額査定される可能性があり、どの程度の減額が可能か、休憩後の再質疑で回答していただくよう依頼がありました。

### **14:20 休憩（再質疑についての委員協議）**

4団体の発表後、休憩時間を使って、基金運用委員は、実現化に向けての懸念事項等、再質疑の協議を行いました。



### **14:50 再質疑**

休憩終了後、最終投票に向けて、基金運用委員が再質疑を行い、4団体の代表または関係者の方が回答しました。



川口 委員



伊藤 委員



石松 委員

質問する基金運用委員



委員の質問に答える団体の皆さん

最後に委員長より、減額の場合の調整可能金額及び意向を4団体に確認し、回答していただきました。

### **15:20 各委員による投票、休憩**

再質疑を終えると、いよいよ皆さんの前で投票です。



委員の投票を会場で集計する事務局

各委員には、各団体の提案を、「選考にあたって重視する点」①～⑤の5項目全てについて「3点」「2点」「1点」「0点」の4段階で評価をしていただきました。

＜選考にあたって重視する点は以下のとおり＞

.....提案内容の妥当性.....

①必要性

- ・公益性・公共性のある提案か
- ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする提案か
  - ・地域の身近な課題やニーズを的確に把握しているか
  - ・地域に貢献する施設か

②独創性

- ・地域の特性や資源などを活かした個性豊かな提案か
- ・創意工夫を凝らした提案か

③実現性

- ・工事計画が具体的になっているか
  - ・費用対効果があるか
- (工事の規模および事業予算は妥当か、コスト削減の工夫をしているか)
- ・工事する施設の維持管理・運営計画が具体的になっているか
  - ・地域住民が参画して取り組んでいるか
  - ・自己資金(工事費の5分の1)を用意できる見通しはあるか

④発展性

- ・実現後に地域まちづくり活動を高めることに繋がる効果があるか
- ・他の地域のモデルとなり、よい影響を与えることが期待できるか

.....提案団体の能力.....

⑤活動実績と主体性

- ・準備助成金を活用した活動により効果があったか
- ・誰でも参加できるワークショップ、シンポジウム、講演会、ニュースの発行などに主体的に取り組むとともに、その活動を通して地域住民に提案内容が周知され、理解を得ているか
- ・自ら主体となって工事を行い、施設の継続的な維持管理をする能力があるか
- ・地域住民の労働力が十分に活かされているか

集計は、「選考にあたって重視する点」5項目の評価を点数化(3点、2点、1点、0点)して委員の平均点を算出しました。

例えば、以下の〇〇〇団体の例では、委員7人の平均点は、11.71点となります。

＜〇〇〇団体の計算例＞

① 必要性	「3点」4票	「2点」2票	「1点」1票	「0点」0票
② 独創性	「3点」3票	「2点」1票	「1点」2票	「0点」1票
③ 実現性	「3点」5票	「2点」2票	「1点」0票	「0点」0票
④ 発展性	「3点」4票	「2点」3票	「1点」0票	「0点」0票
⑤ 活動実績と主体性	「3点」4票	「2点」1票	「1点」1票	「0点」1票

(「3点」×20票 + 「2点」×9票 + 「1点」×4票 + 「0点」×2票) ÷ 7人 = 11.71点

集計した委員の平均点を参考に、総合的に判断し、採用を決定しました。

## 16:05 投票の結果公表

副委員長が投票の結果を発表！  
採択団体に花がつけられました。



結果を発表する西澤副委員長と花を付ける川口委員



評価の結果など、総合的に判断し、委員会で慎重に議論を重ねた結果、4団体とも採択されました。ただし、申請額を一部減額し、助成上限額として条件が付されました。

No.	団体名称	委員の平均点 (15点満点)	選考にあたって重視する点を評価															申請額 円	助成上限額 円								
			計			必要性			独創性			実現性			発展性					活動実績と主体性							
			3点	2点	1点	0点	3	2	1	0	3	2	1	0	3	2	1			0	3	2	1	0			
	えごども	9.50	4	1	7	0	1	5	0	0	4	2	0	0	3	3	0	1	4	1	0	2	3	1	0	4,780,000	3,630,000
	長者町アートアニュアル実行委員会	11.50	10	1	9	1	0	1	5	0	1	5	0	0	4	2	0	0	5	1	0	4	2	0	2,195,120	1,980,000	
	てんばくプレーパークの会	13.17	20	9	1	0	6	0	0	0	4	1	0	6	0	0	0	2	4	0	0	5	1	0	3,000,000	3,000,000	
	嶋子きすなの会	11.67	11	1	8	1	0	1	5	0	0	5	1	0	5	1	0	0	6	0	0	5	1	0	1,504,800	1,430,000	

## 16:20 委員長講評



講評する福島委員長

1次選考後、2次選考まで非常に多くの提案事項を整理していただき、勉強会、見学会、あるいはWSを開かれたり、管理者に対する許認可関係のチェックや理解を取り付けたり、多くの作業、エネルギーを費やしてここに至ったと思います。皆様のご努力に敬意を表したいと思います。

1次選考の段階で、皆さんの提案は、意義のある活動であり、是非展開していただきたいという事で採択されました。2次選考では、その「実現性」が重要なポイントとなります。また、1次選考より具体化、詳細化された提案が新たに訴えるものがあったのかも検討いたしました。具体的には、必要性、独創性、実現性、発展性、活動実績と主体性、という5つの項目で評価いたしました。その結果、2次選考で積極的に不採択とすべき団体はないと判断いたしました。

一方で、4団体の申請額の総額は助成予算を150万円ほど上回っています。そこで、どのように予算を配分するかが次のポイントとなりました。評価点をみますと、「てんぱくプレーパークの会」は全5項目で高い評価を得て、15点満点中13.17点という高評価を得ました。第2位の「鳴子きずなの会」は11.67点、第3位の「長者町アートアニュアル実行委員会」は11.50点と僅差の2位と3位です。1位と比べると若干差が開いており、「てんぱくプレーパークの会」については申請額100%を認めるという判断し、2位以降については多少の減額をさせていただくことにいたしました。2次審査の最後に、予算をどれだけ圧縮ができるのか、自己資金をどれだけ上乗せできるのかを質問いたしました。これと2位以降の評価点を踏まえて、助成上限額の減額査定をいたしました。その結果、「鳴子きずなの会」では申請額から5%圧縮し143万円、「長者町アートアニュアル実行委員会」では申請額から10%圧縮し198万円の助成上限額をそれぞれ設定させていただきました。ここには、順位だけでなく、「長者町アートアニュアル実行委員会」の予算計画を詳細に見ると、多少圧縮できるのではないかという判断もありました。

第4位の「えこども」については、助成予算総額の上限から25%の圧縮査定となりました。25%という減額幅がまずありきということではなく、助成予算の範囲内で、できるだけ支援するというで決まった額です。委員会では、25%減額で計画目標が達成できるかという点も検討しました。例えば、トイレを1つとしたり、建物を簡素化して予算を削れば、提案の目標は達成できると考えました。是非とも「エコなトイレ」を東谷山に造っていただければと考えています。

委員会としては、1次選考で採択した団体すべての提案を2次選考においても採択できたことを大変うれしく思います。採択団体には、地権者や関係許認可部署から口頭でいただいている許可を文書で示していただく、また、助成上限額のもとで予算を精査していただき、助成額を確定するなどの作業が残っています。今回の助成採択を受けまして、皆様には提案の実現においてさらにご努力をしていただくことが多々あると思います。私どもも応援しておりますので、是非、良いものを造っていただいて、市民の方々から喜ばれるものにしていただければと思います。

これをもちまして私の講評とさせていただきます。ありがとうございました。

## **16:30 閉会**

今後は、必要書類を整え、承諾を受けた後、自分たちのまちの“夢”を実現するための工事が実施されます。

### **\* アンケートからの意見・感想**

- ・ 自団体のプレゼン応援に来ただけですが、質問を通じて、資料を通じて他団体の活動を知る事ができて興味深かったです。
- ・ よい事は、どんどん予算つけたらよいのでは。予算少なすぎるのでは。
- ・ よいプロセスだと思う。
- ・ やり抜くこと。
- ・ 各団体に実行させ、管理を具体的に提案させればよいのでは。